

## 自由が丘駅周辺地区 踏み切り 解消推進協議会

(設 立 宣 言)

自由が丘に乗り入れている鉄道は、私たちの生計・生活の根幹をなす大動脈であり、公共交通としてなくてはならないものです。

しかし、「開かずの踏み切り」は交通渋滞の発生、地域間の分断や踏切事故の危険性など様々な問題を抱えており、行政をあげて早急に解決すべき大きな課題となっています。

平成 21 年度に系列の乗り入れ鉄道線の混雑緩和の為に導入された東急大井町線に於ける急行の運行により「開かずの踏み切り」状態となった、自由が丘駅付近では、近隣住民及び多くの来街客が、開かずの踏み切りの渡線機会を待ち、車両と共に道路に溢れ出し、一度の開閉機会では、踏み切りを通過できない危険な状態になっています。

そこで、「開かずの踏み切り」の早期解消を、私たちの共通の課題として認識するとともに、自由が丘駅周辺の「開かずの踏み切り」が1箇所でも多く、1日でも早く解消されるよう、関係機関に対して必要な措置を講ずるよう要請するなど、私たちが一体となって、力を結集し、「開かずの踏み切り」解消推進と、沿線である自由が丘のまちづくりに取り組んでいくことを確認するとともに、本事業が目黒区並びに世田谷区にとって真に必要な事業として評価され、将来にわたり、その整備のための安定的な財源が確保されるよう国や都に働きかけるとともに、一日も早くその実現を図ることを強く要望します。

また、東急東横線においても、「開かずの踏切」と「緊急自動車の通過できない高架」が一日も早く解消されるよう、関係機関とともに取り組んでいきます。

平成22年12月14日